

「アライグマシンポジウム2013」

アライグマの社会・繁殖・対策

アライグマ問題は日本各地でますます深刻度を増しています。アライグマの社会構造や繁殖の実態を知ることは、対策にも有意義と考えられます。アメリカの最前線でアライグマ繁殖生態を研究するStephanie Hauverさんをお招きし原産地アメリカのアライグマについて最新情報をお話いただきます。

日時 2013年3月17日(日) 13:00~17:00

場所 中央大学後楽園キャンパス 3号館3300教室
東京都文京区春日1-13-27

主催 関西野生生物研究所
共催 生物多様性JAPAN



東京メトロ丸ノ内線・南北線「後楽園駅」徒歩5分
都営三田線・大江戸線「春日駅」から徒歩7分
JR総武線「水道橋駅」から徒歩15分

参加費 : **無料**
なるべくお申し込み下さい : **先着90名**

総合司会:竹下信雄氏(生物多様性JAPAN)

13:00 開会の挨拶

13:05 講演「Social Associations and Mating Behavior of the Raccoon」
アライグマの社会的関係と交尾行動

Stephanie Hauver氏 Cornell University (米国コーネル大学)
逐語訳通訳 川道武男氏 (関西野生生物研究所)

15:50 講演「日本における外来アライグマの出産時期・産子数・妊娠率」
加藤卓也氏 (日本獣医生命科学大学 獣医学部 野生動物学教室)

16:20 講演「アライグマ対策効果の測定は可能か:京都府舞鶴市の事例」
川道美枝子氏 (関西野生生物研究所 立命館大学客員研究員)

16:55閉会の挨拶

Stephanie Hauver氏



申し込み先:関西野生生物研究所 メール:chipmunk@h5.dion.ne.jp 携帯:090-6076-7655

このシンポジウムは平成24年度経団連自然保護基金と平成24年度独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金の助成を受けて開催されます

